

2023（令和5）年度学校経営方針

伊賀市立大山田小学校

自分が好き！ 友だちが好き！ 大山田が好き！

1 学校教育目標

確かな学力と豊かな心、健やかな体、そして実践力のある子どもの育成

2 めざす子ども像

- ① 自ら課題をもち、意欲的に学習できる子
- ② 互いのちがいを認め合い、自分もなかまも大切にできる子
- ③ 自分の可能性にチャレンジできる、心身ともに健康な子

3 めざす教師像

- ② 授業を大切にし、楽しくわかる授業に取り組む教師
- ③ 人権感覚を磨き、子どもの個性を引き出し伸ばす教師
- ④ チームワークを大切にし、組織として行動する教師
- ⑤ 子ども・保護者・地域の人々に親しまれ、信頼される教師

4 努力目標

学ぶ楽しさ、わかる喜びが実感できる授業の創造

生命・人権を尊重し、人間性豊かな子どもの育成

キャリア教育の推進と、心身ともに健康な子どもの育成

地域に根ざした学校づくりの推進

5 努力目標を具体化する視点

(1) 学ぶ楽しさ、わかる喜びが実感できる授業を創造する。

- ① 教材を深く研究し、子どもが学ぶ楽しさを実感できる授業づくりに取り組む。
- ② 子ども一人ひとりが自ら課題をもち、課題解決に向けて、自ら考えたり、多様な他者とのかかわりの中で解決しようとしたりする授業を創造する。
- ③ 授業では、まず自分の考えを持ち、それを書いたり発言したりする等、表現する力をつける。
- ④ 1時間の授業のめあてを明示し、子どもがめあてを達成できたか否かを振り返る活動（自己評価）を行う。
- ⑤ GIGA スクール構想に基づく1人1台端末の積極的な活用を図る。
- ⑥ 授業や家庭学習等を通して、基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- ⑦ 子ども自ら学習する意欲を育てるために、家庭学習（自学自習「ふるさと山」）を充実させる。
- ⑧ 全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックの結果から、子どもたちの学力実態を把握し、指導改善に生かす。

(2) 生命・人権を尊重し、人間性豊かな子どもを育成する。

- ① 子どもが自分の生活を見つめ「つづる」こと等を通して、自身を受け止める力を育成する。
- ② 一人一人のよさや違いを認め合い、心の奥底でつながり合う「なかまづくり」の取

組を進める。

- ④ 生命・人権の尊重、差別を許さない行動力を培う人権・同和教育を充実する。
- ⑤ 個別の人権課題を解決するための学習をカリキュラムに取り入れ、系統的な取組を行う。
- ⑥ 「障がい」のある子どもたちの自立を支え、交流学習を中心にして、ともに学びともに高まり合う関係づくりに努める。
- ⑦ 幅広く専門的な知識と経験を持ったゲストティーチャーを招き、その人の生き方や現実の社会について学ぶ。
- ⑧ 教職員自身の人権感覚や感性を子どもとともに高める。
- ⑨ 校区の保育園や中学校・地域との連携を密にし、系統的な人権教育カリキュラムを推進する。

(3) キャリア教育の推進と、心身ともに健康な子どもを育成する。

- ① 出会い学習等を大切にし、子ども一人一人の夢を育てるキャリア教育を推進する。
- ② 家庭・地域と連携しながら、子どもの自立を支援する。
- ③ 生活習慣の確立や健康・安全に関心を持つなど、自らの生活を創る力を育成する。
- ④ 子どもの願いを組織していく自主的な自治活動を活性化する。
- ⑤ 日常の生活の安全に万全を期し、危機管理に努める。
- ⑥ 子どもの健康や体力の状況を把握し、安全や健康に対する基礎的事項の習慣化と体力の増進を図る。

(4) 地域に根ざした学校づくりを推進する。

- ① 「学校運営協議会」を設置し、保護者や地域の声を学校運営や教育活動に生かす。
- ② 家庭・地域社会との相互理解を深め、地域の教育力を重視する。
- ③ 学校・学級から保護者や地域の人々への情報発信を行う。
- ④ 家庭訪問・地区懇談会等で、ふれ合う機会、話し合う機会を大切にする。
- ⑤ 「学校評価アンケート」を実施し、学校経営に生かす。
- ⑥ 広い校区からより安全な通学ができ、安心して学習や活動ができる教育環境づくりを推進する。

(5) 働き方改革を実行し、活力ある職場環境づくりを推進する。

- ① 校内安全衛生委員会を定期的開催し、総勤務時間の縮減や教職員の健康保持等について協議を行い、具体的な行動につなげる。
- ② 研修や会議等においては、資料の事前配付や時間設定、論点整理等の事前準備を心がけ、コンパクトで充実した協議の場となるよう努める。
- ③ 年次休暇の計画的な取得や定時退校日（週1回）の設定等、時間外勤務の縮減に取り組み、心身のリフレッシュができるような職場の環境づくりを行う。
- ④ コンプライアンスミーティングを開催し、コンプライアンスを意識した職場づくりに取り組む。

【活動指標】

- ・設定した日の定時に退校できた職員の割合 80%
- ・放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合 80%

【成果指標】

- ・年360時間を超える時間外労働者数 0人
- ・月45時間を超える時間外労働者の延べ人数 0人
- ・1人当たりの月平均時間外労働 30時間以下
- ・1人当たりの年間休暇取得日数 15日以上